

授業科目 臨床歯科医学

【担当教員名】 大橋 靖・今井信行	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期（前半）	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>
口腔・歯・歯周組織の発生・発育、形態と機能、およびそこに発生する疾患の病態・診断・治療・予後・予防・鑑別診断などについて学習する。
構音障害II(器質)、嚥下・摂食障害の講義とは関連が深い。
<一般目標：G I O>
発語器官として特に歯を中心とした口腔の形態、機能、疾病について理解する。

<行動目標：S B O>
1. 口腔の臨床解剖について説明できる。
2. 口腔を構成する諸器官の発生・発育について説明できる。
3. 口腔の機能について説明できる。
4. 歯を中心とした疾患の診断、治療、予防について概要を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	歯科・口腔外科学総論 対象、歴史、現代の医療、言語聴覚士の役割		講義（大橋）
2	歯・口腔・顎・顔面の臨床解剖 顔面、頸部、口腔軟組織、顎・顎関節、歯・歯周組織の臨床解剖		講義（大橋）
3	歯・口腔・顎・顔面の発生と発育 口腔・顎・顔面の発生と発育、歯の発生と萌出		講義（外部講師を予定）
4	歯・口腔・顎・顔面の機能 言語機能、咀嚼機能、嚥下機能		講義（大橋）
5	歯・口腔・顎・顔面の診査法 口腔診査用器械器具、消毒・滅菌・感染予防、診査法		講義（今井）
6	口腔衛生 口腔清掃法と口腔清掃指導		講義（今井）
7	歯と歯周組織の疾患 歯の疾患・歯周組織の疾患		講義（大橋）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門編	医学書院	2006年発行 4200円
参考書	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学 最新口腔外科学：第4版	道 健一編 榎本昭二他編	医歯薬出版 医歯薬出版	2000年発行 4000円 1999年発行 21000円
その他の資料	プリントを配布する			

【評価方法】 出席状況と定期試験から評価する	【履修上の留意点】 継続して講義される口腔外科学と合わせて完結する
---------------------------	--------------------------------------

言語聴覚学科 専門